

図書館員のひみつの本棚 第147回

今月はなぞなぞの本をご紹介します。

『なぞなぞあそびうた』『なぞなぞあそびうたⅡ』

角野 栄子／作 スズキコージ／絵 のら書店 1989年 1992年 1296円

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 低学年☆☆☆ 中学年☆☆ 高学年☆☆ 中学生——
高校—— 一般——

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

詩のなぞなぞの本。なぞなぞとしてはもちろん、詩を味わっても楽しめます。

1 ページに1つのなぞなぞ。なかなか難しいものもあるので、大人も子どもも夢中になってしまう1冊です。

絵本のよみきかせやおはなし会のプログラムに入れると、ちょっと遊びが加わって楽しい雰囲気になります。

雨の日や移動の合間、夜寝る前などに家族で楽しむのもおすすめです。

<子どもに手渡す時のポイント>

最初に巻頭にある「なぞなぞの詩」を読んでからなぞなぞに入ると、本の雰囲気がよく伝わります。なぞなぞはどのページから読んでも楽しめます。なぞなぞとして最初に1、2回詩を読んで、答えが出た後にぜひもう一度ゆっくり詩を読んであげてください。答えがわかってから詩を聞くと、子どもたちは詩の情景を思い浮かべながら詩を味わってくれます。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

